



災害 -風水害-

風水害から身を守ろう

風水害に備えるには、気象情報を把握して早めに備え、速やかな行動をとることが基本です。日頃から、最新の気象情報を確認するように心がけましょう。

雨の強さと降り方

1時間雨量の目安

10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。	どしゃ降り。傘をさしていても濡れる。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。

風の強さと吹き方

平均風速の目安

10~15m/秒	15~20m/秒	20~30m/秒	30~35m/秒	35m/秒以上
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風	猛烈な風
おおよその時速	~約50km/h	~約70km/h	~約110km/h	~約125km/h
風に向かって歩きにくい。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もでる。電線が鳴り始め、看板やトタン板が外れ始める。	何かにつかまないと立ってられない。細い木の幹が折れたり、看板が落下・飛散する。	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れ、電柱や街灯で倒れるものがある。

避難のポイント

浸水が始まってから避難することはとても危険です。浸水前の早い段階で安全な場所に避難しましょう。

◎持ち物・服装

- 動きやすい服装で、持ち物はリュックにいれ、両手を自由にします。
- 長靴は水が入ると動きずらくなるため、動きやすい運動靴をはきます。
- 浸水時は、水の濁りで足元が見えないため、側溝やマンホールなどを長い棒で確認しながら移動します。
- 夜間の避難は危険なため、明るいうちに避難をしましょう。



●歩行が困難になる水深

水深が膝くらいになると大人でも歩くことが困難になり、50cm以上の水深になった時の避難は危険です。



●川には近づかない

上流域の降雨により、河川の水位が急激に上昇することがあります。河川の増水が心配になって、川の様子を見に行くことは非常に危険なのでやめましょう。



●車で避難はしない

一般的に、30cm以上の水深では車の走行が困難となり、50cm以上では車が浮いたり、車内に閉じ込められたりするなど、車での避難は危険です。



危険な場所

●河川や用水路

激しい水の流れが発生することがあるので、絶対に近づかないようにしましょう。



●地下空間

地上の様子が分からず逃げ遅れる可能性があります。また、地上が冠水すると一気に水が流れ込み、水圧で部屋のドアが開かなくなる危険性があります。



●アンダーパス

鉄道や道路の下を横断する場所(アンダーパス)は、降雨時に大きな水溜りになる可能性があります。

